

平成28年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

山形県立米沢興譲館高等学校
平成29年3月17日

目指す生徒像	1 自他の生命を尊重し、調和の取れた人間性豊かな生徒 2 謙虚に学ぶ姿勢を身に付け、高い志を持ってその実現に向けて努力する生徒 3 次代のリーダーとして、自立し、世のために尽くそうとする生徒
--------	--

重 点 目 標	1 自立に向けた生徒指導の展開
	2 学習環境の整備と健康・安全教育の推進
	3 学力の向上
	4 探究型学習の推進
	5 進路指導体制の充実強化
	6 開かれた教育活動の推進

達成度	A	達成・・・（3.0以上）
	B	概ね達成・・・（2.5以上）
	C	やや不十分・・・（2.0以上）
	D	不十分

評価	4	達成
	3	概ね達成
	2	やや不十分
	1	不十分

自 己 評 価					学校関係者評価	総 括
番号	評 価 項 目	具体的方法と指標・基準	評価	達成度	意見・要望・評価等	
1	自他の命を大切にし、違いを認める態度の育成ができています。	・生徒課主管の様々な活動において、良好な人間関係を構築できるよう話し合いの場の設定 ・各分掌と連携した情報共有と機会を捉えた生徒状況把握による指導上の諸問題の早期発見 ・アンケートや面談によるいじめの実態の把握 ・スクールガード事業やいのちの講話及び各種講演会等を通してのいのちの教育の推進	3.1 A	B	・学校いじめ防止基本方針のもと組織的・計画的な取り組みを推進する。 ・様々な場面での生徒観察を通して生徒の状況把握に努める。 ・生徒のスマホ・携帯電話利用状況や環境について理解を深めネット被害等を防止する。 ・特に自転車乗車について、交通安全のルール・マナーを守るよう声掛けを継続して行うとともに機会をとらえて指導する。 ・委員長を中心に自主的な委員会活動になるよう指導する。 ・部長会を開催し、活動場所や活動時間、用具の整理整頓について指導する。	
	主体性・挑戦する態度育成を目指した部活動、学校行事、生徒自治会活動などが行われている。	・日常の声掛けや立哨指導等、交通安全講話や薬物乱用防止教室の実施による社会のルールを守る態度の育成 ・マナーアップ運動や交通安全運動を展開し、端正な服装や挨拶ができる生徒、ルールを守る態度の育成 ・各種委員会活動の自主的な活動の推進	2.9 B			
2	危機管理体制の整備と施設設備の安全点検が行われている。	・「危機管理マニュアル」の点検と周知徹底 ・メールシステムの効果的な活用と業者の見直し ・毎月の安全点検を実施と不備への迅速な対応	2.9 B	B	・危機管理マニュアルの内容を吟味し、見直しを継続的に進める。 ・様々な災害を想定し適時の避難訓練考えとともに、避難経路の分散を図り、素早い非難ができるようにする。 ・見直した業者の緊急連絡メールシステムを効果的に運用する。 ・列車不通等への素早い適切な対応について、体制作りする。 ・感染症の情報を迅速正確に収集し、早期に適切な対応ができるよう体制を整備する。 ・保健委員の健康観察の在り方について検討する。 ・カウンセリング委員会で情報交換と支援策を検討するなどし、効果的に且つ適切に対応する。	・授業第一主義を基盤とする学習指導を徹底するとともに、アクティブラーニングを取り入れた指導方法の研究と改善を進めた。 ・昨年度、より具体化された「興譲の精神」「育てたい生徒像」を基盤に、次期SSH、探究科設置を見据え、「興譲館版domain of competence」を策定した。 ・新たな評価法の職員研修を外部講師を招聘し複数回実施した。来年度も継続的に研究し実践する。
	校舎内外の清掃の徹底と美化活動は積極的に行われている。	・清掃箇所を明確にし清掃指導の徹底、用具の管理の徹底と定期的な衛生用具の点検・補充 ・清掃強化週間の複数回設定と実施 ・定期的な清掃点検の実施 ・美化委員による点検活動の実施	2.9 B			
	健康や安全に関する生徒の自己管理能力の育成と教育相談体制の充実が図られている。	・「避難訓練」を効果的な実施による生徒の防災意識と実践力の向上 ・「保健だより」の発行による心身の健康に関する話題の提供 ・担任団・教科担当者との緊密な生徒の情報交換 ・健康診断後の健康管理の支援継続のため、受診勧告書の発行と点検 ・定期的な教育相談の実施と状況に応じたカウンセリング委員会の開催	2.9 B			
3	自己効力・思考力を育む授業が推進されている。	・教育課程や日課の適正に実施するよう運用・管理の実施 ・年間指導計画表による授業点検を行い、生徒が見通しを持った学習ができるよう学習計画表の配付 ・スーパーサイエンスハイスクール事業のカリキュラムの編成・運用・管理を理数科と連携	3.1 A	A	・各分掌との連携により、教育課程をよりよく運営すると共に、教育課程を検証する。 ・探究型学習で利用のタブレット型端末の維持・管理体制を整える。 ・指導力向上を図る教員研修を継続実践する。 ・表現活動に関する種々の取組みを検証し改善する。 ・授業評価を継続し、授業改善に資するよう工夫する。 ・学年と連携し、学校生活時間調査を基に、生徒のタイムマネジメントを推進する。 ・評価法についての職員研修をさらに深める。 ・探究科設置に向けて、探究型学習やアクティブラーニングについて研究し授業実践等で職員全体で共有する。 ・探究科設置の平成30年度の教育課程を点検し、スムーズに移行できるように準備する。 ・授業第一主義を徹底する。	・探究科に対して普通科をどう特徴づけるか議論を要する。大学入試改革と同時期にあたり、ICTの積極的活用やカリキュラムマネジメントが重要となる。 また、各大学の入試研究を行い、大学ごと具体的な戦略を練って進路実現させてほしい。 ・アクティブラーニング等の探究型学習を効果的に実施するためには、カリキュラムマネジメントが大切である。 ・本校のミッションに合致するようなアンケート項目を研究する。
	謙虚に学ぶ姿勢と論理的批判力の育成が行われている。	・授業研究期間や公開授業日を設定し、相互研修・指導力向上を図り、教科担当者会により生徒の学習状況の理解と情報共有の推進 ・年2回の生徒による授業評価をとおして、自己点検を実施 ・年2回の学校生活時間調査を行い自ら進んで改善・向上させる態度の育成	3.0 A			
	本校の使命を果たすための教育課程の適切な管理と効果的運用がなされている。	・教育課程検討委員会を適時的に開催し、点検精査しながらの運用 ・2年普通科での探究型学習の実施と評価 ・年2回の生徒による授業評価をとおして、授業改善のために授業点検を実施 ・表現活動委員会との連携による朝読書の実施	3.1 A			
	教師力の向上を目指した研修会が充実して行われている。	・自己効力向上や評価法についての外部講師による研修会の実施 ・アクティブラーニング	3.2 A			
4	SSH事業の推進と効果的な実施が行われている。	・「スーパーサイエンスハイスクール事業」を効果的に活用し、体験的な学習活動の充実	3.3 A	B	・3期目のSSH指定における事業を点検・整備するとともに、計画に沿って実施する。 ・SSH事業の推進をとおして、国際的視野が広げられるよう生徒に還元するとともに、校内組織の連携の充実を図る。 ・生徒の外部研修等への参加については、その趣旨を深く鑑み精緻に検討する。 ・探究科設置に向けて、基本的な教育方針等を職員全体で確認・共有する。 ・中核教員研修事業を核として、探究科設置美向けての組織化を図る。	・肯定的回答が高止まりだが、「よく当てはまる」を高める方策を検討してほしい。 ・生徒の多様性を認め個々に応じた指導を展開してほしい。また、少数ではあるが否定的な回答にも目を向けるべき。 ・SSH事業がキャリア教育に良い影響を及ぼしているのは喜ばしい。 また、この事業を通して成長することが実感されている。
	探究科設置に向けた教員の意識が共有され、準備が進められている。	・密な連絡を取ることで、「高大融合」協定を基とした山形大学工学部との連携促進 ・理科研修センターと連携を図り、地域の小学生や中学生向けの体験型の実験講座の実施	2.5 B			
	国際性と表現力の育成を図る指導が推進されている。	・関係各分掌と連携を図りながら、効果的かつ効果的な運用・実施	2.9 B			
5	キャリア教育実践プログラムによる高い志を育む教育と系統的な進学指導が推進されている。	・すべての生徒が主体的に進路を考え、決定していくための系統的な指導体制の確立 ・難関大学進学指導体制の充実と指導力の向上 ・生徒面談の随時実施による生徒の多様な進路志望への対応 ・教員向け研修への計画的参加による指導力向上	3.1 A	A	・SSH継続指定を受け、より効果的なキャリア教育推進を行う。 ・入学時点で学力を踏まえた指導の在り方を見直しを検討する。 ・学習寄宿は狙いを明確にし、効果的に実施する。 ・冬季から春にかけての学力伸長を図るよう、層別対応を検討する。 ・推薦、AO指導を全職員体制で実施する。 ・各種科学系コンテストの幹旋を継続的に検討する。	また、この事業を通して成長することが実感されている。
	個に応じた進学希望を実現するための組織的支援体制が整備されている。	・理数科・教務課を中心に、他分掌との連携を強化してのSSH事業のより一層の推進 ・表現活動推進委員会を中心に、SSH事業での表現活動の指導を整理したより効果的な指導体制づくりの推進 ・各種コンテストへの積極的な参加の勧奨 ・推薦・AO入試の積極的活用と研究	3.2 A			
6	各種評価及び学校関係者評価委員会が効果的に機能している。	・生徒による年2回の授業・学校生活評価及び保護者による学校評価、教職員による自己評価を実施し、授業改善、教育活動への活用及び結果の公表 ・年2回の学校関係者評価委員会の実施による、助言内容の本校教育活動改善への反映	3.1 A	A	・各種評価の内容を点検・検討する。また、方法を確認するとともに引き継ぎ事項を整備する。 ・各種評価による改善事項をまとめ、次年度に繋げる。 ・各団体との連携を継続する。 ・探究科設置に向けたPR活動を計画・実施する。 ・HPの速やかな更新を図る。 ・進路課通信の発行部数を伸ばし、より一層の情報提供に努める。 ・130周年記念のテーマソングとシンボルマークの活用を検討する。 ・次年度の高P連地区事務局校としての役割を円滑に遂行する。	・同窓会の強力な後押しにより、130周年記念事業を学校全体で成功裏に実施することができた。
	保護者・地域との連携、社会参加活動は積極的に行われている。	・保護者向け進路講演会の実施による情報提供と啓発活動 ・保護者の本校教育活動への参加意識の高揚と、広報活動やHPによる情報の公開	2.9 B			
	学校のホームページを含む広報活動は積極的に行われている。	・各課、学年と連携し、ホームページの迅速な更新	3.2 A			
	説明責任に基づく事務処理が適切に行われている。	・事務部と連携した確かな事務処理の遂行	3.2 A			